

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	139 人権啓発推進事業	会計	01	一般会計
基本 施策	38 互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	02	総務費
		項	01	総務管理費
施策	4 人権啓発活動の推進	目	18	人権啓発費
		細目	101	人権啓発推進経費
		細々目	01	人権啓発推進経費
基本計画該当頁		146		行革大綱の重点事項番号
		7		
担当部課	コード 600100	評価者 氏名	葛原 吉彦	
	名称 島ヶ原総務振興課	連絡先	59 - 2053 (内線) 11	

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	島ヶ原支所管内の市民及び企業 (※対象件数)	地域において、人権問題に主体的に取り組む意識が高まる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権フェスティバル講演会「共に生きるために私たちにできること」、人権のつどい「人権作品表彰式、講演会『心と心のきずな』を開催した。 ・地域のだれもが人権の意識をもち、自分らしく、そして互いに思いをめぐらしながら、支えあって生きる地域づくりを目指し、その取り組み方を考える場として人権啓発地区別懇談会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の人権意識の現実を知り、地域の人権課題を共通のものとした。また、人権課題の解消のためには地域全体で取り組むことが大切であるという意識が醸成された。 ・講演会などの学習の場に参加し、人権問題の現実を学び、正しい理解と認識に立って、自分のこととして取り組まなければならないという意識が高まった。
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 17 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額															
委託 工事	事業内容	報償費		(千円) 220	報償費		(千円) 252	報償費		(千円) 328									
		旅費		168	旅費		97	旅費		9									
		需用費		89	需用費		89	需用費		117									
		備品購入		241	備品購入費		123	備品購入費		125									
		負担金		32	負担金		24	負担金		0									
		その他		0	その他		0	その他		7									
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	750	事業費計(A)	Σ	585	事業費計(A)	Σ	586									
事業投入人員		人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.7	人 5,040	人件費(B)	0.6	人 4,320									
フルコスト(A)+(B)				5,790			5,625			4,906			4,906			4,906			4,906

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	750	585	586	586	586	586
Aの財源内訳	国庫支出金						
	県支出金	87	153	69	69	69	69
	地方債						
	受益者負担						
	その他						
	一般財源	663	432	517	517	517	517
	計	750	585	586	586	586	586
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	人権啓発活動推進事業費補助金 県補助金1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 県補助金1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 県補助金1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 県補助金1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 県補助金1/2	人権啓発活動推進事業費補助金 県補助金1/2

事業種別	継続	補助	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
地区懇談会開催地区数	地区	目標 8 実績 8	目標 8 実績 7	8	8
人権講演会の開催	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
人権講演参加者数	多くの人が参加することで、地域の人権意識の高まりにつながる。	人	目標 180 実績 220	目標 200 実績 174	200	200
地区懇談会参加者数	人権問題について考える機会を多く持つことが正しい理解につながる。	人	目標 220 実績 234	目標 240 実績 189	220	220

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	人権問題の解決は、一人ひとりの正しい理解や解決に向けた行動が不可欠で、多くの市民がつどい、共に学びあう機会として、講演会は意義のある事業である。
有効性	3	学習の機会を多く持った人ほど、人権に対する理解や認識が高いことが意識調査にも現れている。自分の意識に気づき、正しい理解へと自らを高める機会となる。
達成度	3	計画をしていた開催地区が、地域の事情で開催できなかったことは残念ではあるが、ほぼ予定どおりの実施が出来たことは良かった。
効率性	4	最低限の経費で実施しているためコスト削減の余地はない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	情報提供や、関係機関との協働により、関心を高める。 住民の関心に沿ったテーマを設定し、幅広い層の参加を促す。